

# 北九州革新懇ニュース

平和・民主・革新の日本をめざす北九州の会  
〒803-0817 北九州市小倉北区田町13-21 田町ビル3F  
TEL093-592-5000 Fax093-571-4346  
E-mail k-kakushinkon@ace.ocn.ne.jp

## 全国革新懇「三つの共同目標」

1. 日本の経済を国民本位に転換し、暮らしが豊かになる日本をめざします。
2. 日本国憲法を生かし、自由と人権・民主主義が発展する日本をめざします。
3. 日米安保条約をなくし、非核・非同盟・中立の平和な日本をめざします。

## 北九州革新懇 インタビュー



**プロフィール 三宅 昌 (みやけさかえ)** 健和会京町病院院長・公益財団法人健和会理事長  
1952年生まれ 65歳 愛媛県出身 現在は小倉南区在住。鹿児島大学医学部卒 健和会大手町病院に医師として入職。現在健和会京町病院院長 公益財団法人健和会理事長。  
家族 子供3人(長男、次男は医師。長男の三宅亮さんは健和会大手町病院勤務)

今回は、小倉南区革新懇の世話人の有馬和子さんと副事務局長の石橋近さん、事務局員の篠田澄さんの3人で1月17日、苅田町にある健和会京町病院を訪ね、三宅昌先生にお会いし、お忙しい中、約1時間お話を伺いました。

### ◆ご出身はどちらですか？ お医者さんになったのは……

四国の愛媛です。家は「造り酒屋」でしたが、昭和の大恐慌で没落しました。今は実家はもうありません。高校生の時「難しいことに挑戦したい

」という気持ちがあり、鹿児島大学の医学部を目指して勉強しました。

### ◆お医者さんになって最初から民医連の大手町病院に就職されたのはどうしてですか

私は鹿児島大学の医学部で学び、医師になりましたが、学生時代に「民青同盟」に入会しました。そのころ、学生運動も盛んで「革マル」=極左分子=も活動していました。学生大会で革マルに襲われ逃げ込んだのが校内の「大学生協」のお店でした。

鹿児島大医学部では、卒業前に地域に住んでいる「寝たきり老人」の調査をすることが決まって

いて市の保健所や民生委員と連携して地域を訪問するなど、大変貴重な経験をしました。離島の徳之島にも行きましたが「死ぬ前に医者を超える」という言葉がありますが、病気になっても医者にかかれず死ぬ前にやっと医者顔を見て安心して死んでいく人たちの実態に触れて「医療も地域に密着した活動が必要」と実感しましたね。

医学部の同期生には当時民青の仲間が 10 数人いたので就職は民医連の病院と話し合っていました。学生の間で、福岡の千鳥橋病院が人気

がありましたが、私は健和会大手町病院に入職しました。1978 年でした。

#### ◆理事長になられたのはいつですか？

外科医として大手町病院に入って7年後(1985年)病院の経営が危機に直面していたとき(不渡り手形が出る前)末次さんに代わって理事長に

なりました。以来、今年で 33 年理事長を務めてきましたが、今年 65 歳になったので、6 月の理事会で辞任の予定です。

#### ◆困難を乗り越えて今日の公益法人健和会として病院4か所、診療所2か所、看護学校、健和会友の会と地域と連携しながら大きく発展していますが、お感じになっていることは

健和会も当初は「よい医療とは、「最新の医療設備、医療機器を備え、最先端の医療を受けられるようにする」と勘違いしていた時期があったと思います。地域との連携が必要です。保健所や町内会とも連携して地域と密着した活動が必要です。「安心して住み続けられる街づくり」という民医連の方針を具体化するうえでも、トップダウンではなく、職員の理解と納得が得られるよう、全体が理解して意思統一をする、理解の遅い人には歩みを合わせることを大事にしてきました。

特に京町病院に来て感じるのは、日産やトヨタの若い派遣労働者が、生活がギリギリで低栄養の青年も多く胸が痛みます。労働者が健康に働き安心して医療が受けられるようにするには医療の分野の努力だけではできません。政府、特に安倍政権になって社会保障をマイナスコストとして削るのが「予算の要」のように言われますが、国民が安心して暮らせるように、病気になったら安心して医者にかかれるようにする社会保障こそ政府の一番の仕事だと思います。

#### ◆これからの課題は

新大手町病院の基礎設計(6月末)と中長期の計画をつくるのが私の責任です。地域の開かれた病院となるよう、一階には地域交流スペースも考えています。

農協に呼ばれて挨拶しました。今回も稲嶺さんが勝つといいですね。

話は変わりますが、私は沖縄の名護市長選で稲嶺さんが最初に立候補された時に応援に行き、

もう一つは「9条改憲NO! 3000万署名」です。北九州健康友の会と協力して署名に取り組んでいます。健和会の中で京町病院がいちばん進んでいるようです。300筆を超えました。

#### ◆お忙しい中ですがご趣味は？ お庭に美しいバラがありますね。

ガーデニングです。妻と一緒に100株位バラを植えていますので手入れが大変です。ご近所の方からも「美しいバラの花を見るのが楽しみです」と期待されているのでやめられません。

これからもお元気で活躍下さい。「健和会」のご発展を期待しています。

三宅先生お忙しい中ありがとうございました。(文責 有馬和子)

## 1月28日 「安倍9条改憲NO! 八幡市民アクション」結成集会

報告:池村好順(八幡西革新懇)

安倍首相が憲法9条改悪に異常に前のめりになっている情勢のなか、八幡地区では「安倍9条改憲」を許さない新たな組織が誕生しました。そのことについて報告をいたします。

折尾駅そばの「オリオンプラザ」を会場に、1

月28日(日)10時から「安倍9条改憲NO! 八幡市民アクション」の結成集会が行われました。日



曜日の午前中にも関わらず、130名の方々が参加していただき、大変励まされました。

開会時刻少し前、歌声サークルの方のリードで、参加した皆さんで数曲の歌を歌いました。会場の雰囲気は少しずつ和やかになってきました。そのうちの一曲は、「♪人を好きだというように一平和憲法のうた」です。この歌の最後の歌詞は「♪かけがえのない人間の愛の9条」、本当にそうだなと思いました。八幡の退職教員の吉田素子さんが作曲したそうです。

**結**成集会は定刻通り10時に開会しました。

総合司会は原田里美・さよなら原発八幡西連絡会事務局長。原田さんは、終始明るく誠実に全体の進行を心がけていました。最初の開会挨拶は、主催者を代表して安部千春弁護士が行いました。今回の結成集会には、多彩な来賓の参加がありました。最初に前田憲徳・平和をあきらめない北九州ネット副代表・弁護士、原田和明・八幡地区雇用問題を考える会事務局長、讃井さちこ・福岡市民政治ネットワーク・北九州市議、まじま省三・日本共産党前衆議院議員。それぞれの立場から、4名の来賓が挨拶と熱心な訴えをしていただきました。

この結成集会で学習会を企画しました。通常国会で安倍首相が憲法改悪を表明しているこの時期ですので、安倍政権が狙う憲法9条改憲について詳しく知りたいとの要望も多くありました。そこで、新進気鋭の朝隈朱美弁護士にお願いして、「安倍9条改憲がめざすもの」と題して講演をしてもらいました。質疑を含み60分！かなり無理なお願いでしたが、大変わかりやすく講演をして

いただき、会場の参加者にも、とても好評でした。講演の司会は北川喜久雄・北川内科クリニック院長が行い、質疑・応答では5人が発言しました。

**講**演内容は、第1「そもそも、安倍政権が

改憲を目指す目的は？」、第2「憲法改正は必要？不要？」、第3「戦後70年以上、憲法9条はどのような役割を果たしてきたのでしょうか？」、第4「改憲が行われた場合、私たち国民の暮らしへの影響は？」、第5「自衛隊の明記～そもそも、自衛隊とは？」、第6「国民投票の問題点」—この項目を読んでお分かりのように、私たちの知りたいことがほぼ網羅されています。私個人は、特に第4と第6が参考になりました。他団体でも、朝隈朱美弁護士の講演を是非企画されてはどうでしょうか！

●「結成集会への提案」を、嶋國勝・八幡西革新懇事務室長が行いました。この間の経過を説明し、以前から活動してきた「戦争法廃止！八幡地区実行委員会」を発展的に解消し、現在の情勢に見合う新しい組織「安倍9条改憲NO！八幡市民アクション」を立ち上げたことの意義と目的と目標、そして申し合わせ事項等を簡潔に説明し、参加者に提案をしました。

「ここ八幡の地において『安倍9条改憲NO！』の目標で大同団結し、市民世論の多数を結集する運動にしていく。そして、5月3日までに300万人署名を集めぬき、安倍首相が国民投票を発議できない状況をつくりだす！」、「そのために地域・職場・学園で目に見える大宣伝を展開し、『安倍9条改憲NO！』の思いを全市民に広げよう！」、そして引き続き「八幡市民アクションとして、毎月第2・第4金曜日17:30からの宣伝行動に取り組む！」等、熱く呼びかけ提案しました。現在世話人は12名、加入団体は31団体ですが、今後とも共闘の呼びかけを広げ、世話人・参加者・賛同団体を広げる決意を表明しました。

●その後、4人の方が「安倍9条改憲NO！—にかける私の思い」ということで、それぞれ決意表明を行いました。新婦人東、折尾9条の会、三ヶ森共産党後援会、上津役9条の会の代表が、今取り組んでいる300万人署名活動のエピソード



